

同志社大学

2015年度 個人研究費研究経過・成果報告書

2015年 2月 18日提出

所 属	職 名	氏 名
スポーツ健康科学部	教授	田附 俊一
研 究 題 目	ボールゲームを用いた環境要因、集団、個人の相互関係の可視化・定量化・モデル化	
研 究 成 果 の 概 要	<p>球技では、監督がゲームの状況を変えるため、いわゆるメンバーチェンジをすることがある。特にゴール型の球技では、自チームと相手チームの選手が入り乱れるため、何らかの形でメンバーチェンジの影響が生じていると思われる。</p> <p>しかし、測定技術的課題もあり、選手交代による自チームや相手チームの選手の動きに与える影響についての定量的研究はない。</p> <p>本研究では、チームのメンバーが替わることによって、動きが変わる選手と変わらない選手がいることが明らかになった。</p> <p>次年度以降は、その対象を広げ、また、理想的な動きについても研究を進める予定である。</p>	